

議論に際して

課題①少子化・高齢化の影響

課題②地域を支える力の低下

課題③県北西部の中心都市としての魅力・吸引力の低下

課題④市内地域特性の違い

将来都市像

誇りへとつながる知恵や心うるおす自然を活かし
笑顔と元気が輪となり広がる先進住環境都市
～ 未来に持続する中枢交流拠点 柏 ～

【重点目標】

- ①充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち
- ②健康寿命を伸ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち
- ③地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち

基本構想

分野1 子ども未来	分野2 健康・サポート	分野3 経済・活力	分野4 地域のちから	分野5 環境・社会基盤	分野6 安全・安心
未来の宝である子どもの教育や子育て環境の充実の取組を示す分野。	市民一人ひとりの健康や、高齢者や障がい者など支えを必要とする方に対する取組を示す分野。	地域の魅力を高め、多くの人が集まりにぎわい、活力ある地域をつくる取組を示す分野。	地域の財産である人やコミュニティ、文化・スポーツなど、地域に対する愛や誇りを育む取組を示す分野。	自然環境や都市空間、道路・交通といった生活基盤などについて魅力的で質の高いまちをつくる取組を示す分野。	市民の命をまもる防犯・防災、消費者保護などの取組を示す分野。
分野(7)マネジメント 行政各分野を進めるために重要となる財政面の強化・改善の取組や公共施設のあり方を示す分野。					

基本計画

目指す**将来都市像**の実現に向かって、
基本計画の7分野で戦略的に取組んでいく

戦略的に取組む

…広範・多岐にわたる行政の施策・取組の中でも、将来都市像実現に効果的と考えられる施策・取組等を明確にする＝選択し、資源を集中的に投下していくことが必要

■ 柏市第五次総合計画 基本計画は、次のような構成となっています。

第1章 基本計画の概要	(1)基本計画の位置付け・構成	-	第7回～9回の会議では、特に第2章「分野別計画」について議論をお願いします。
	(2)基本計画の計画期間	-	
	(3)財政の見通し	-	
	(4)施策の体系	-	
第2章 分野別計画	(1)子ども未来	第9回 (7月29日)	各回では議論用に、第五次総合計画基本計画の「第2章分野別計画」のうち、その回に議論していただく分野についての資料をお渡しします。
	(2)健康・サポート		
	(3)経済・活力	第7回(済) (5月27日)	
	(4)地域のちから		
	(5)環境・社会基盤		
	(6)安全・安心	第8回 (6月26日)	
	(7)マネジメント		
第3章 計画の実効性の担保	(1)効果的な推進のため	-	【各回で配布する資料】 ※その回の検討対象分野について 資料● 分野別計画 (A3説明資料) 資料● 柏市第五次総合計画基本計画 第2章 分野別計画 (計画書形式のもの)
	(2)進捗管理の体制	-	

■ 「第2章 分野別計画」は…

基本構想の「目指す将来都市像」や「重点目標」の達成(実現)に向け、7つの分野別に、今後10年を見据えて具体的に実施していく施策・取組・事業(主なもののみ記載)等を簡潔に整理したものとします。

■ 総合計画審議会では…

7分野を3回に分け、1回あたり2～3分野について、資料●(分野別計画の内容をまとめたもの)と資料●(基本計画のうち第2章の当該分野別計画の箇所を抜き出したもの)を用いて御議論いただきます。

1つの分野でも施策・取組・事業(主なもののみ記載)の内容は膨大であることから、限られた時間内に濃密な議論・検討を宜しくお願いします。

※進め方の詳細等については、第7回会議の「資料3 第7～9回の進め方について」を御確認ください。

■ 第7回～第9回でみなさまに議論いただきたいこと

● 10年後には**基本構想**で目指している「**将来都市像**」、「**重点目標**」が達成・実現できるように、基本計画の**各分野の施策・取組**には優先順位がつけられているか？

● その優先順位をつけた際の「**考え方**」は適切であるか？

…その他として 例) このような視点や考え方もあるのではないかと

こうした切り口・取り組みもあるのではないかと…など

■ 各回とも、次の資料を用いて議論を行っていただきます。

資料3 説明資料	各回で検討頂く「分野別計画」を、将来像実現のためにどのような考え方のもと作成したかを整理した資料です。当日の御説明では、主にこちらを用いて説明いたします。全体の考え方、実現のために優先すべきことを整理しています。
	また、各回で検討頂く際に、特に委員のみなさまに御議論・御意見をいただきたい点を改めてお示したものです。各分野及び施策等の考え方をお示していますので、こちらをもとに御議論を進めていただきたいと思います。
資料3-1 柏市第五次総合基本計画(案) 第2章分野別計画	各回で検討いただく「分野別計画」を「柏市第五次総合基本計画(案)」から抜き出したもので、上の「資料3」でお示した考え方のもと作成されています。分野ごとに施策体系図と施策等の内容が記載されていますので、その施策で何を優先しているのか、全体を俯瞰しつつ、その内容を確認していただくことが可能です。

分野別計画 (5) 環境・社会基盤

将来都市像を実現するための優先順位の考え方
 ⇒ より良い住環境へのつながりや、都市機能としての人の集まりやすさ・移動しやすさを重視

○良好な住環境を有する先進住環境都市となることで、市内外からの評価が高まり、持続可能なまちとして未来にもつながる取組や事業が特に優先される

【論点1】この2つを重視するという考え方について

【論点2】これらの考え方(強みである緑を守ることが優先)について

【論点3】低炭素化、特に省エネや再生可能エネルギーを優先する考え方について

【論点4】各種汚染対策は重点化というものではない考え方について

【論点5】未利用地のオープンスペースへの活用を優先する考え方について

【論点6】バリアフリー化を優先する考え方について

【論点7】公共交通での移動のしやすさを優先する考え方について

分野目標	施策	取組	事業
① 未来の子どもに引き継ぐ住環境をつくる	5-1.豊かな自然環境づくり	1)緑や水辺空間の保全	1)良好な樹林地等の保全 2)水辺空間や湧水の保全 3)生物多様性の保全と復元 4)環境保全活動の育成・啓発
		2)緑を増やす取組の推進	1)壁面・屋上緑化やヒートアイランド対策の推進 2)緑豊かな街並みづくりの誘導
	5-2.環境負荷の低減	1)低炭素化の推進	1)省エネルギーの推進 2)再生可能エネルギーの普及促進 3)公共施設の低炭素化 4)低公害車の普及
		2)大気・水質・土壌等汚染の防止	1)環境・大気・水質・土壌等の監視及び事業者に対する指導 2)焼却灰等の最終処分場の安定的な確保 3)指定廃棄物への対応 4)清浄施設周辺整備等の推進 5)L1尿漏に対応した収集・処理体制の効率化 6)1市2制度3清掃工場体制の見直し
		3)安定的かつ効率的なごみ処理体制の充実	1)3Rの推進
② 良好な住環境の基となる社会基盤の形成・維持を図る	5-3.魅力あふれる都市空間の創出	4)廃棄物の排出抑制	1)産業廃棄物の不法投棄の監視
		5)適正な産業廃棄物処理	1)カシワ制度の推進 2)ニーズや地域特性に応じた公園づくり 3)公園再配置の推進 4)立体都市公園の検討
	5-4.安全・円滑な交通環境の確保	1)緑があり人が集まるオープンスペースの充実化	1)バリアフリー化の推進 2)土地区画整理事業の推進 3)案内サインの設置
		2)快適で安全な住環境の整備	1)都市再生整備推進法人や景観整備機構 2)良好な景観形成の普及・啓発 3)景観重点地区の導入 4)景観まちづくり団体の支援 5)屋外広告物の是正指導
		3)柏らしい景観を生かした都市空間づくり	1)空き家等の適正管理及び活用
5-5.排水対策の推進	4)空き家対策の推進	1)鉄道の利便性向上 2)バス交通の機能向上 3)ジャンボタクシー事業・カシワニクル事業の推進 4)ITSの利活用 5)総合公共交通体系の構築	
	1)公共交通の利便性向上	1)自転車利用環境の整備 2)駐輪場の充実化と放置自転車対策の強化	
5-6.安定した水道水の供給	2)自転車利用環境の向上	1)道路整備プログラムの推進 2)既設道路の改善(拡幅・歩道設置等) 3)新規道路の設置 4)旧市町を結ぶ新市道路の整備 5)踏切の改修(拡幅等)	
	3)安全かつ円滑な道路網の構築	1)道路の改良 2)橋梁の長寿命化 3)アダプトプログラムの推進 4)公共基準点設置	
5-5.排水対策の推進	4)道路の適正な維持管理	1)交通安全教室の充実化 2)高齢者への啓発活動	
	5)交通安全の推進	1)下水道施設の維持管理 2)下水道整備の推進 3)河川整備の推進 4)下水道経営基盤の強化	
5-5.排水対策の推進	1)下水道施設の維持管理	1)下水道施設老朽化対策の推進	
	2)下水道整備の推進	1)汚水未普及地区の解消 2)下水道の分流化対策 3)水普及の促進 4)雨水浸水被害の解消	
5-6.安定した水道水の供給	3)河川整備の推進	1)雨水排水の機能強化	
	4)下水道経営基盤の強化	1)使用料の適正化 2)収納率の向上	
5-6.安定した水道水の供給	1)水道施設の計画的な整備・更新	1)水道施設の耐震化 2)老朽管の改良 3)水源施設等の整備・更新 4)基幹管路の整備・拡充	
	2)安全で安定した水の確保	1)安定した受水量の確保 2)井戸の更新及び掘削 3)配水管の洗浄	

未来の子どもに引き継ぐ住環境づくり

良好な住環境の基となる社会基盤の形成・維持

【優先施策の考え方】
 ・都市部にあって緑が多く、手賀沼など水辺環境にも囲まれていることが柏の特徴であり、強み・魅力。
 ⇒これを未来にわたって守っていく必要。

施策5-1 豊かな自然環境づくり

【優先取組・事業の考え方】
 ・失った自然環境を元に戻す、新しい緑などを育むことも大切だが、そもそも今ある緑や水辺等を大切にすることがより良い住環境や生態系の維持等にも効果的であり、より重要。
 ⇒取組1)緑や水辺空間の保全
 ⇒事業1)良好な樹林地等の保全
 事業2)水辺空間や湧水の保全

【優先施策の考え方】
 ・国内で2番目に地球温暖化対策条例を制定した環境意識の高い都市という特徴・強み。
 ・より良い住環境=まちの魅力を高める。
 ⇒実際の取組等を介しアピールしていく必要。

施策5-2 環境負荷の低減

【優先取組・事業の考え方】
 ・条例を踏まえた具体的な地球温暖化対策として、温室効果ガスの削減が重要。
 ⇒取組1)低炭素化の推進
 ・環境負荷を下げながら、昨今の国家的課題であるエネルギーの安定確保との両立が期待できる取組は将来にわたり重要。
 ⇒事業1)省エネルギーの推進
 事業2)再生可能エネルギーの普及促進
 ・各種環境汚染対策は、行政の当然の責務として継続的かつ着実に取り組んでいくべきもの
 ⇒重点化という考え方になじむものではない

【優先施策の考え方】
 ・重点目標である子育ての視点から、安全・安心で元気に遊べる空間が必要。
 ・公園や広場等は幅広い世代が集う場として、少子高齢化やコミュニティの希薄化からも必要。
 ⇒重点目標の達成に資する都市空間に必要

施策5-3 魅力あふれる都市空間の創出

【優先取組・事業の考え方】
 ・未利用地のオープンスペースへの活用は、課題解決と施策実現を両立でき、より効果的な取組となり重要。
 ⇒取組1)緑のあるオープンスペースの充実化
 ⇒事業1)カシワ制度の推進
 ・子育て中の親子や高齢者にとって、集う場のアクセスがしづらいことも重要。
 ・バリアフリーは、他都市との住環境比較における評価ポイントとなるため重要。
 ⇒取組2)快適で安全な住環境の整備
 ⇒事業1)バリアフリー化の推進

【優先施策の考え方】
 ・重点目標の子育て中の親子や高齢者にとって、移動のしやすさは良好な住環境や都市の利便性・快適性において重要。
 ⇒重点目標の達成に資する都市空間に必要。

施策5-4 安全で円滑な交通環境の確保

【優先取組・事業の考え方】
 ・子育て中の親子や高齢者にとっての移動のしやすさは公共交通の利便性向上が重要。
 ⇒取組1)公共交通の利便性向上
 ⇒事業1)鉄道の利便性向上
 ⇒事業2)バス交通の機能向上

分野別計画（6）安全・安心

将来都市像を実現するための優先順位の考え方

- 重点目標に関連する子育て世代の親子や高齢者が安全・安心に暮らせるための施策・取組・事業が特に優先される
- 先進住環境都市に備わっているべき機能として特に災害や犯罪への取組は重要

⇒ 子どもや高齢者を意識した、災害や犯罪に対する取組を重視

【論点1】この2つを重視するという考え方について

【論点2】この考え方（防災力向上には要配慮者対応が優先）について

【論点3】この考え方（防災力向上には設備の老朽化対策が優先）について

【論点4】この考え方（防犯力向上には弱者を狙った犯罪への対策が優先）について

災害時などに命を守ることができる安全が確保されたまち

犯罪などを未然に防ぐ安心があるまち

【優先施策の考え方】

- ・子育て世代の親子や高齢者が、災害時にも安全が確保されるよう、防災力の高いまちであることが重要。
 - ・防災力の高いまちは、他都市と比べた魅力・付加価値としても重要。
- ⇒重点目標の達成に資する都市機能として必要。

施策6-1 防災力の向上

【優先取組・事業の考え方】

- ・災害時の不安の軽減、安心感の向上には、子育て世代の親子や高齢者等、災害時に特段の配慮が必要な市民への対応が重要。
- ⇒取組1)地域防災力の向上
⇒事業1)要配慮者対策の推進
- ・防災力の低下につながる防災設備の老朽化は発災時の被害拡大を防ぐためにも、着実な改善・準備が他よりも優先される。
- ⇒取組2)防災体制の強化
⇒事業1)防災機能の整備

【優先施策の考え方】

- ・犯罪等の中でも、重点目標に関連する子育て世代の親子や高齢者が特に被害に遭いやすい犯罪の防止が優先される。
 - ・犯罪の少ない（＝防災力の高い）まちは、他都市と比べた魅力・付加価値としても重要。
- ⇒重点目標の達成に資する都市機能として必要。

施策6-3 防犯力の向上

【優先取組・事業の考え方】

- ・子どもや女性、高齢者等社会的弱者を狙った犯罪を抑止するには、抑止効果の高い防犯カメラの設置が安心につながる。
- ⇒取組1)地域防犯力の強化
⇒事業1)街頭防犯カメラの設置
- ・特に被害が増えている振り込め詐欺は、今後の高齢者増を踏まえると、安心して暮らしていく上でその防止が重要。
- ⇒取組1)地域防犯力の強化
⇒事業2)振り込め詐欺対策

分野目標	施策	取組	事業
① 災害時などに命を守ることができる安全が確保されたまちをつくる	6-1.防災力の向上	1)地域防災力の向上	1)要配慮者対策の推進 2)自助・共助の育成
		2)防災体制の強化	1)防災機能の整備 2)災害時物資の備蓄 3)情報通信体制の強化
		3)災害に強い街づくり	1)防災・避難路の整備 2)住宅の耐震改修の促進
		4)危機対応力の強化	1)危機管理意識の啓発 2)危機管理体制の強化
		5)火災予防の強化	1)地域での放火抑止対策 2)住宅火災の防止 3)火災予防上重要な施設の防火安全対策
		6)消防体制の充実	1)消防車両及び資機材等の更新整備 2)消防水利の整備 3)消防庁舎の維持管理 4)消防団器具置場の整備 5)消防団員の加入促進
	6-2.健康被害の防止と安全の確保	1)救急体制の適正化	1)救急隊の適正配置 2)救命士の充実 3)救急車の適正利用促進 4)応急手当の普及啓発
		2)健康危機に備えた体制づくり	1)健康危機管理体制・対応力の強化 2)薬事毒物指導の強化 3)健康危機における心のケア及び支援体制の整備 4)衛生検査能力の向上
		3)食品・環境衛生対策の推進	1)食品・環境衛生監視指導体制の充実 2)食品・環境衛生検査体制の充実 3)食中毒等予防に係る啓発 4)HACCP導入の普及
		4)感染症対策の充実・強化	1)感染症の予防啓発 2)関係機関との連携強化 3)医療機関、社会福祉施設等への感染症対策の指導・啓発 4)感染拡大防止の迅速かつ適正な実施 5)新興・再興感染症対策の整備、強化
		5)人と動物との共生社会の推進	1)動物愛護精神の普及啓発 2)動物愛護ボランティアとの連携促進 3)犬猫の致死処分頭数の減少
		6-3.防犯力の向上	1)地域防犯力の強化
6-4.消費者の安全・安心の確保	1)消費者の自立支援体制の整備	1)消費生活相談体制の強化、拠点化 2)適正計量の確保	
	2)市民一人ひとりの消費者行動力の向上	1)消費者への情報発信・啓発活動の推進 2)自立した消費者になるための消費者教育の推進 3)消費者団体及び事業者等による自主的な取組の支援・推進	
	3)消費者問題解決力の高い地域社会づくり	1)地域の多様な主体との連携による見守り活動の推進	

① 災害時などに命を守ることができる安全が確保されたまちをつくる

② 犯罪などを未然に防ぐ安心があるまちをつくる

分野別計画（7）マネジメント

将来都市像を実現するための優先順位の考え方

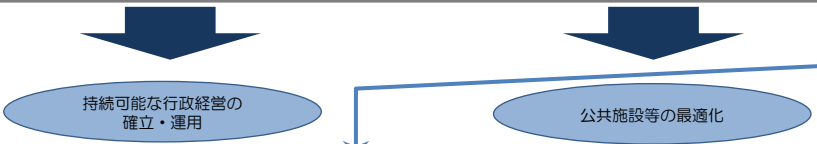
○将来都市像の実現に向けた重点施策を含む各分野の施策等の着実な実施を可能とするため、厳しい見通しの中、財源の継続的な確保が特に優先される
○将来都市像「未来に持続…」には、持続できる体制が大前提

⇒ 持続可能な行政経営を確立・運用できる取組、そして行財政運営の大きな課題となる公共施設等の老朽化問題等への取組を重視する

【論点1】この2つを重視するという考え方について

【論点2】この考え方（歳入確保、特に新たな税収確保による財源確保が優先）について

【論点3】この考え方（歳出抑制による財源確保が優先）について



【優先施策の考え方】
・ 厳しい財政見通しの中で、必要な財源が継続的に確保できる仕組みが特に必要。
⇒ 将来都市像・重点目標の達成の裏付けに不可欠

施策7-1 持続可能な行政経営の実現

【優先取組・事業の考え方】
・ サービス効率化等様々な策の中でも、最も直接的な策である歳入確保策が重要。
⇒ 取組1) 歳入確保の強化
・ 歳入確保策の中でも、今後の市税収入の伸びが見込めない中では、今のうちからの新たな税収の確保が、今後は特に重要。
⇒ 事業1) 税収確保に向けた取組の推進
・ 今後の市税収入の伸びが見込めず、新規の財源確保は容易ではない中で、増加が見込まれる財政需要に対応していくには、歳出抑制(節約)が重要。
・ サービスの不断の効率化と併せて、サービス水準・対象者等の適正化が不可欠。
⇒ 取組2) 行政サービスの適正化
⇒ 事業1) 歳出抑制の推進

【優先施策の考え方】
・ 人口急増期に多数整備した公共施設等の老朽化は、その莫大な対策費用が本市財政を圧迫し、持続可能性を脅かす恐れ。
・ 財政負担の抑制及び平準化の観点から適切かつ計画的な対応が急務。
・ 単なる維持や更新ではなく、今後の人口動態や社会情勢の変化等から、必要な施設等の種類・規模・立地等が大きく変わることを考慮し、最適化が、特に求められている。
⇒ 将来都市像・重点目標の達成への障害、本市の持続可能性へのリスクの除去が重要

施策7-2 公共施設等の最適化

【優先取組・事業の考え方】
・ 最適化に向けては、統廃合や再配置だけでなく公共サービスのあり方も含め、総合的かつ計画的な管理が重要。
⇒ 取組1) 公共施設マネジメントの推進
⇒ 事業1) 公共施設等の総合的な管理の推進

分野目標	施策	取組	事業
持続可能な行政経営を確立するとともに、将来の大きな課題となる公共施設等の最適化を図る	7-1. 持続可能な行政経営の実現	1) 歳入確保の強化	1) 税収確保に向けた取組の推進 2) 未収債権対策の強化 3) 受益者負担の適正化
		2) 歳出抑制の推進	1) 経常経費の削減
		3) マネジメントサイクル(PDCA)の活用	1) 行政評価の実施 2) わかりやすい行財政情報の提供
4) 民間活力の導入		1) 指定管理者制度や民間委託の推進 2) 民営化の推進	
5) ICT活用による効率化・サービス向上		1) 行政サービスの電子化の推進 2) 業務のシステム化推進	
6) 職員の能力向上		1) 研修等を通じた人材育成	
7) 組織体制の最適化		1) 組織の見直し	
	7-2. 公共施設等の最適化	1) 公共施設等マネジメントの推進	1) 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理 2) 公共施設の適正配置・多用途化の推進 3) 公共施設の民間連携の推進
	7-3. 柏ブランドイメージの創出	1) シティプロモーションの推進	1) シティプロモーション関連事業の実施
		2) 戦略的な観光施策の推進	1) 柏人の育成 2) 観光情報の向上集約化 3) フィルムコミッションの整備推進 4) 著名人やキャラクター等を活用したPR事業 5) 体験型観光の推進 6) MICEとアフターコンベンションの充実化

【論点4】公共サービスのあり方も含めた総合的かつ計画的な管理が重要という考え方について